

## 利率変動型一時払終身保険(米ドル建 16)における 費用およびリスクについて

この保険には、お客さまにご負担いただく各種費用があります。またお客さまに帰属するリスクがあります。メットライフ生命では、特にご注意いただきたい事項をお客さまにより正確にお伝えするため、当資料を作成しましたので、あわせて必ずお読みください。

### 諸費用についてご確認ください

この保険では、下記の費用をご負担いただきます。

#### ⚠ 保険関係費用について

保険関係費用とは以下の費用をいい、それぞれ下記の方法で差し引くことによりご負担いただきます。

項目		時期・控除方法
保険関係費用 *1	保険契約の締結にかかる費用(契約時費用)	契約時に、主契約一時払保険料から差し引きます。
	死亡・高度障害保障や保険契約の維持のための費用	保険期間中、主契約の積立金から毎月差し引きます。
	資産運用のための費用(運営管理費率)	基準利率を決定する際に、所定の期間における指標金利の平均値に1.0%を増減させた範囲内で当社が定めた利率から差し引きます。

\*1 保険関係費用は、一時払保険料・契約年齢・性別・経過期間などによって異なるため、一律には記載できません。

※当社が定めた利率から運営管理費率を差し引いたものが基準利率となります。

#### ⚠ 外貨建保険のお取り扱いの際にかかる為替手数料について

通貨交換時に生じる手数料をご負担いただきます。

##### (銀行などの金融機関で通貨交換をされる場合)

・外貨建の保険料を円または他の外貨から交換して用意される際には、為替手数料が必要になります。また、外貨建の保険金などを円に交換して受け取る際にも為替手数料が必要になります(詳しくは取扱金融機関にご確認ください)。

##### (銀行などの金融機関で外貨のお払い込み・お受け取りをされる場合)

・保険料を外貨で払い込む際には、送金手数料・引出手数料などをご負担いただく場合があります。また、保険金などを外貨で受け取る際にも手数料をご負担いただく場合があります(詳しくは取扱金融機関にご確認ください)。

##### (通貨交換に関する特約などを利用される場合)

・「保険料円入金特約」「外貨入金特約」「円支払特約」のレートには為替手数料が含まれており、特約適用時のご負担となります。特約適用時のレートは、三菱UFJ銀行が公示する外貨交換レート(TTS)と円交換レート(TTB)の中間の値(TTM)を基準として計算されたレートです。

保険料円入金特約のレート	TTM+50銭
外貨入金特約のレート	(豪ドルのTTM-25銭) ÷ (米ドルのTTM+25銭)
円支払特約のレート*2	TTM-50銭

\*2 円建終身保険移行特約(16)を付加して円建終身保険に移行する場合にも当レートが適用されます。

※1日のうちに公示の変更があった場合には、その日の最初の公示値とします。

※上記のレートは2022年4月現在のものであり、将来変更されることがあります。

#### ⚠ 年金を管理するための費用について

年金支払特約を付加し、死亡保険金などを年金で受け取られる場合、毎年の年金受取時に年金を管理するための費用(年金額の1.00%)が差し引かれます(費用の割合は、将来変更されることがあります)。

### リスクについてご確認ください

この保険にはお客さまにご注意いただきたいリスクがあります。

#### ⚠ 外貨建保険には、為替相場の変動によるリスクがあります

この保険の保険金額および解約返戻金額は、為替相場の変動により、受取時の為替相場で円に換算した金額が、契約時の為替相場で円に換算した金額を下回ることがあります。また、保険金などの受取時の円換算額が、一時払保険料の払込時の円換算額を下回り、損失が生じるおそれがあります。

#### ⚠ 解約返戻金額が一時払保険料を下回る場合があります

解約時および減額時に、運用資産(債券など)の時価を解約返戻金額に反映させる「市場価格調整」を行うため、市場金利などの変動により解約返戻金額が増減します。

※一般的に、債券の価値は、市場金利が高くなるとうがり、市場金利が低くなるとうがる性質があります。

その結果、解約時および減額時の解約返戻金額が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。市場価格調整について詳しくはご契約のしおり・約款をご覧ください。

## 変額終身保険特約(16)を付加された場合

### ⚠️ ご契約にかかる諸費用について

ご契約にかかる諸費用とは以下の費用の合計をいい、それぞれ下記の方法で差し引くことによりご負担いただきます。

項目	費用	時期・控除方法
保険関係費用	この特約の締結にかかる費用(契約時費用)	特約一時払保険料に対して10% 契約時に、特約一時払保険料から差し引きます。
	この特約の(災害)死亡・高度障害保障や維持のための費用	特約の積立金に対して年0.42% 日々、特約の積立金から差し引きます。
運用関係費用 *3	特別勘定の運用により発生する費用	特約の積立金に対して年0.396%(税込) 日々、特約の積立金から差し引きます。

\*3 運用関係費用には、上記のほか信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料などがかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、お客さまに間接的にご負担いただき、特別勘定のユニット価格に反映されます。なお、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動などにより将来変更される場合があります。詳しくは特別勘定のしおりをご覧ください。

※上記の費用のほか、主契約と同様に外貨建保険のお取り扱いの際にかかる為替手数料もご負担いただきます。

### ⚠️ 為替相場の変動によるリスクがあります

この特約の保険金額や解約返戻金額については、為替相場の変動により、受取時の為替相場で円に換算した金額が、契約時の為替相場で円に換算した金額を下回ることがあります。また、この特約の保険金などの受取時の円換算額が、特約一時払保険料の払込時の円換算額を下回り、損失が生じるおそれがあります。

### ⚠️ 運用実績により、特約部分の受取金額が特約一時払保険料を下回る可能性(運用リスク)があります

- ・積立金(お払い込みいただいた特約の一時払保険料から契約時費用を差し引いた金額)は主に投資信託を通じ、特別勘定の運用方針にそって株式先物や債券先物などで運用されるため、運用の対象となる株式市場や債券市場などが下落した場合には、積立金も減少します。また、この特約における通貨建以外の資産を運用対象としているものについては、為替変動の影響を受けることから積立金が減少する場合があります。
- ・この特約の積立金は、実際の投資金額より大きな金額で運用を行い、特別勘定のユニット価格が大きく変動する場合があります。そのため、大きな収益を得られる可能性がある一方で、大きな損失が生じる可能性があります。
- ・そのため、運用実績によってはこの特約の解約返戻金額や保険金額のお受取金額が特約一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります(この特約の保険金額・解約返戻金額に最低保証はありませんので、ゼロとなる可能性もあります)。

詳しくは特別勘定のしおりをご覧ください。

## 円建終身保険移行特約(16)を付加された場合

この特約では、下記の費用をご負担いただきます。

項目	費用	時期・控除方法
保険関係費用	災害死亡保障にかかる費用 年0.02%	円建終身保険に移行後、当社が定めた利率から差し引きます。

※当社が定めた利率から保険関係費用を差し引いたものが移行後の積立利率となります。